

「資源循環型農業」実践
5^{ヘク}で牛を放牧
学給に牛乳提供
佐々木 剛さん・富士宮市

【静岡支局】富士宮市の朝霧高原にある富士丸西牧場で代表を務める佐々木剛さん(53)は「資源循環型農業」を実践し、畜産農家の3代目として乳牛約180頭を飼育している。

北海道の大学で酪農を学んだ佐々木さんは、酪農ヘルパーとして経験を積んだ後、地元で就農し、2005年に代表に就任した。排せつ物を堆肥として還元できる数に飼育頭数を制限している。「一頭一頭、心を

込めて育て、飼育する全ての牛に注意が行き届くように」という思いで飼養。「ストレスフリーな環境を整えたい」という思いから、5畝の放牧地で人にも地球にも優しい資源循環型



「朝霧の景観を次の世代へつなげたい」と佐々木さん



富士丸西牧場の写真共有アプリ「インスタグラム」のQRコード
.....

農業を続けている。

生乳の一部は、市内の酪農家で設立し、佐々木さんが代表を務める「富士の国乳業株式会社」を通じて地域の学校給食で提供されている。地域の小学校約20校で、酪農の魅力を伝える活動をしている佐々木さん。「良い土と良い牧草から、良い牛がつくれる。将来子供たちに『学校給食の牛乳がおいしかった』と言ってもらえるようになれば」と笑顔で話す。(山本)